

医療情報標準化指針提案申請書(新規)

申請受付番号	20220526-01	事務局受付日	2022年 5月 26日	申請日	2022年 5月 26日
提案申請団体名 ・責任者名	日本IHE協会・安藤 裕		規格作成団体名 ・責任者名	日本IHE協会・安藤 裕	
提案規格案名 (版数)	和名	トークンを用いたクラウド型施設間連携 (netPDI)			
	英名	Token-based cloud health information sharing (netPDI)			
提案規格案の目的、概要(提案規格案策定経緯及び決定プロセス)	和文	本技術仕様を利用すると、事業者が中心となる設備を用意し、各施設がそれぞれ利用者の形で参加することによりゆるやかなコミュニティを形成して、シンプルな形で医療情報の交換システムを構築することが可能になる。トークンを用いることにより、誤送信を防止し、システム設計が簡単になる。また、受領側の施設では実データを取得し施設内に格納することができる。			
	英文	This specification enables simple health information exchange service among healthcare providers. The use of tokens prevents misdirection of the information. The recipient facility can acquire the actual data and store it in their own electronic medical record or PACS.			
<p>提案規格案の申請理由、適用領域、使用方法</p> <p>施設間の医療情報の交換システムの導入を容易にする技術仕様を提案し、地域医療連携情報システム普及の支援とする。</p> <p>地域医療連携情報システムを構築する際に、参加施設の情報システム間で患者(個人)の医療情報等を交換する場合に適用が可能である。</p>					
<p>関連他標準との関係(相違点及重複点の取り扱い方)</p> <p>既にHELICS標準化指針として制定されている地域医療連携における情報連携基盤技術仕様の一部を利用し、補完するものである。</p> <p>トークンはすでにISO/TS 22691:2021 Health informatics – Token-based health information sharingとしてISO/TSとなっている。</p> <p>この規格により送受するコンテンツは、既にHELICS標準化指針となっている、「IHE統合プロファイル」可搬型医用画像」およびその運用指針」に定める多量の画像であっても、多量画像のない構造化文書のみであってもよい。</p>					
提案規格案の関連情報	メンテナンスの方法(バージョン管理も含む)	所定の手続きによって日本IHE協会により定期的に見直され、改定があれば更新される。			
	入手資格	特になし			
	入手方法	下記の日本IHE協会のウェブサイトから入手可能となる予定。 http://www.ihe-j.org/docs/			
	有効期限	特になし			
	価格等	無料			
	知的所有権	本技術仕様の著作権は、日本IHE協会が所有している。 ただし、無償使用可能である。			
	添付資料	トークンを用いたクラウド型施設間連携 (netPDI)			
実務運用上の連絡者	・氏名 鶴澤昇二 ・TEL:03-5840-9878 ・FAX:03-5840-9879 ・E-mail: uzawa@ihe-j.org				

特記事項	
------	--

※更新・追加・廃止の時は、以下の一項を選択し、旧規格名(和名)を記載する。	
指針の更新・改廃の場合の旧規格との関係	<input type="checkbox"/> 旧規格()を新規格に更新する。 <input type="checkbox"/> 旧規格()と新規格が追加で指針となる。 <input type="checkbox"/> 旧規格()を廃止する。
更新時の新旧の相違点	※バックワードコンパティビリティについても記入してください。

※申請した指針は、毎年5月末までに見直しをお願いします。
 事務局から問い合わせが行きますので、必要に応じて更新などの手続きをお願いします。
 (2009.05.19 改版)